

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3
開講期間 / Course duration	2020/04/01 ~ 2020/06/10		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0 / 1.0
時間割コード / Time schedule code	20204806000501	科目番号 / Course code	48060005
科目ナンバリングコード / Numbering code	HSMC 10001_283		
授業科目名 / Course title	多文化社会学の諸問題 (社会) / Various Problems on Global Humanities and Social Sciences (Social Sciences)		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	森川 裕二 / Morikawa Yuji, COMPEL RADOMIR / COMPEL RADOMIR, 増田 研 / Masuda Ken, 佐藤美穂 / Sato Miho, 南 誠 / Minami Makoto, 東 史彦 / Fumihiko Azuma		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	森川 裕二 / Morikawa Yuji		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	森川 裕二 / Morikawa Yuji, COMPEL RADOMIR / COMPEL RADOMIR, 増田 研 / Masuda Ken, 佐藤美穂 / Sato Miho, 南 誠 / Minami Makoto, 東 史彦 / Fumihiko Azuma		
科目分類 / Course Category	学部モジュール		
対象年次 / Intended year	1	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟G3A / RoomG-3A		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	1年次		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	morikay@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Office	総研棟11階・森川研究室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2904		
担当教員オフィスアワー / Office hours	事前にメールで連絡をして日時を相談すること。状況に応じて柔軟に対応する。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	この講義は、多文化社会学部の新入生のための「知の旅への誘い」として位置づけられる。多文化社会とはいかなる社会なのか、それに学問的なアプローチをすればいかなる行為なのか、この行為によって見えてくるリアリティはどのような知と実践につながるのか。具体的な研究の概要を分かりやすく説明することを通して、これらの問いに答えようとする学術的営みについてのイメージを喚起する。		
授業到達目標 / Course goals	具体的な事例に基づきつつ、メタレベルの議論へのアプローチを構想することができるようになる。特に、「多様性」、「多文化」、「他者性」等、多文化社会学のキーワードに関連した内容を理解できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	試験・課題レポート (100%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	授業のなかで適宜指示をおこなう。とくに事後学習のより授業内容を確認し、最終試験の準備を進めること (事前・事後学習は1回につき2時間を想定する)		
キーワード / Keywords	多文化社会、多様性、他者性、複雑性、偶有性等。		
教科書・教材・参考書 / Materials	授業のなかで適宜指示をおこなう。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第 1 回	(森川) 多文化社会的状況における諸問題とは何か 冷戦後30年を経て、地球化と反地球化が相克するなかで、国際社会が激しく動揺している。地球化 のプロセスのなかで人間的な実存が問われている「多文化社会的状況」の論点を議論する。
第 2 回	(増田) 1990年代以降の途上国 特にアフリカでの開発の進行を事例として MDGsを中心に、破綻国家や政治的不安定などにも触れながら、アフリカでの開発について紹介する 。
第 3 回	(王維) エスニック観光における開発と伝統文化 民族独自の文化を観光資源に活用するエスニック観光は、開発と伝統の保持という根源的な問題に 直面している。中国と東南アジアとの国境地域である雲南省(景洪と麗江)を事例に、日本でも問 われているインバウンド観光推進と伝統文化喪失の問題を考える。
第 4 回	(南) 歴史記憶と他者構築における和解の可能性 戦後中国における日本人イメージの変遷を題材に、歴史記憶と他者構築の関係性、および、歴史認 識をめぐる対立の超克可能性について考える。
第 5 回	(コンベル) 沖縄の歴史と記憶 戦時戦後の沖縄の日常に見るポリティックスについて議論。
第 6 回	(東) 国や国家間で文化を育み、守るということ いかなる方法によって行われるべきなのか 民族独自の文化を観光資源に活用するエスニック観光は、開発と伝統の保持という根源的な問題に 直面している。中国と東南アジアとの国境地域である雲南省(景洪と麗江)を事例に、日本でも問 われているインパクト観光推進と伝統文化喪失の問題を考える。
第 7 回	(佐藤) 多文化社会学：アフガニスタンの保健事業を事例として 冷戦時代から現在までのアフガニスタンの歴史を振り返りながら、アフガニスタンで実施された保 健事業を事例として多様性、自省性について考察する。
第 8 回	試験(期末レポート)

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2020/04/01 ~ 2020/06/10		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0 / 1.0
時間割コード / Time schedule code	20204806001001	科目番号 / Course code	48060010
科目ナンバリングコード / Numbering code	HSMC 10011_283		
授業科目名 / Course title	多文化社会学の諸問題 (人文) / Various Problems on Global Humanities and Social Sciences (Humanities)		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	葉柳 和則 / Kazunori Hayanagi, 滝澤 克彦 / Katsuhiko Takizawa, 木村 直樹 / Naoki KIMURA, GUELBEYAZ ABDURRAHMAN, 谷川 晋一, 森 元斎		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	葉柳 和則 / Kazunori Hayanagi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	葉柳 和則 / Kazunori Hayanagi, 滝澤 克彦 / Katsuhiko Takizawa, 木村 直樹 / Naoki KIMURA, GUELBEYAZ ABDURRAHMAN, 谷川 晋一, 森 元斎		
科目分類 / Course Category	学部モジュール		
対象年次 / Intended year	1	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟G3A / RoomG-3A		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	1年生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	hayanagi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Office	総合研究棟12F		
担当教員TEL / Tel	095-819-2932		
担当教員オフィスアワー / Office hours	随時 : まずメールでご連絡ください。日時を相談の上面談いたします。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	この講義は、多文化社会学部の新入生のための「知の旅への誘い」として位置づけられる。多文化社会とはいかなる社会なのか、それに学問的にアプローチするとはいかなる行為なのか、この行為はどのような知と実践につながるのか。具体的な研究を分かりやすく説明することを通して、このような学術的営みの輪郭を描き出すことがこの講義の目的である。「多文化社会学の諸問題」の人文篇においては、主として「共生文化コース」と「言語コミュニケーションコース」につながる問いを取り上げる。		
授業到達目標 / Course goals	多文化社会学という学問領域の人文系において、人間や文化に関してどのような問いが立てられ、どのような知見が生み出されているのか、具体的な事例を挙げて説明することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	個々の授業に関するレスポンスペーパーないし小レポート (5点×7回=35点)、最終レポート (50点) + 授業への取組み (15点) = 合計100点のうち60点以上を合格とする。最終レポートは、最も興味を引かれたトピックに関して、自分なりに調べて、まとめるという形式になります。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	事後学習中心に講義を組み立てています。		
キーワード / Keywords	言語、翻訳、宗教、思想、歴史、文化		
教科書・教材・参考書 / Materials	参考書 : 長崎大学多文化社会学部 (編)・木村直樹 (他著) 『大学的長崎ガイド: こだわりの歩き方』昭和堂 (2018)		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	多文化社会学部正規学生・留学生		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	高校での勉強とは違う、知の世界を旅しましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づ く教育内容(実務経験のある教員による授業科 目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
8回+最終レポート	1回目(4/10) 総論 葉柳 (人間学から説き起こす人文学) 2回目(4/17) 言語 谷川(言語と社会: 地域方言と社会方言の観点から) 3回目(4/24) 文化1 葉柳(翻訳の可能性と不可能性) 4回目(5/1) 文化2 ギュルベヤズ(言葉と人間性) 5回目(5/8) 思想 森(「私」と「他者」) 6回目(5/15) 宗教 滝澤(科学と宗教のあいだ) 7回目(5/22) 歴史 木村(歴史的事実と歴史叙述・歴史認識) 8回目(5/29) まとめ 葉柳

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1
開講期間 / Course duration	2020/04/01 ~ 2020/06/10		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0 / 1.0
時間割コード / Time schedule code	20204806001501	科目番号 / Course code	48060015
科目ナンバリングコード / Numbering code	HSMC 10021_371		
授業科目名 / Course title	国際公共政策入門(政治) / Introduction to International Public Policy (Politics)		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	COMPEL RADOMIR / COMPEL RADOMIR		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	COMPEL RADOMIR / COMPEL RADOMIR		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	COMPEL RADOMIR / COMPEL RADOMIR		
科目分類 / Course Category	学部モジュール		
対象年次 / Intended year	1	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟G3A / RoomG-3A		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	多文化社会学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	cmplrad[at]nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	多文化社会学部11階		
担当教員TEL/Tel	2944(コンベル)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日12時~12時50分(予めeメールでアポを取って下さい)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本講義を通して社会の基本的な仕組みについて、政治学の主要な概念および手法を踏まえて理解を深めることを目指します。何となくなじみにくい印象はありますが、実は「生きる」、「つながる」、「話し合う」、「伝える」、「働く」、「支える」、「安心する」、「自由になる」、「越える」など、我々に身近な事柄を見つめていきます。これらの概念は公共とはどのように関わっているか、日常生活でふと感じた疑問が公の場でどのように解決されているかについて、国内と海外の両方の視点に立って考えていきます。		
授業到達目標/Course goals	現代政治が抱える課題について把握すること(基盤的知識、DP1)、社会を構成する人々の文化的背景や価値観の多様性を理解すること(多様性の意義、DP3)、公共性の観念およびガバナンスのあり方について批判的に検討できること(批判的思考力、DP1, DP2)。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	学生が授業中に行った発表、グループワークおよび定期試験によって総合的に判断する。 討論・質疑への積極的な参加、グループワーク、ミニプレゼン、ミニレポート、小試験 50% 期末試験又はレポート 50%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	予習 参考テキストを表示するので、このテキストを読んで授業にのぞむこと。(2h) 復讐 授業ノートを整理し、レジュメ及びテキストを参考に、授業の内容を振り返ること。(2h)		
キーワード / Keywords	公共性、ガバナンス、自治・政治・国際関係		

教科書・教材・参考書/Materials	<p>教科書は使用しない。講義内容に関連した資料はLACSを利用して配付する。 参考となる文献は次の通り： Minogue, Kenneth. Politics: A Very Short Introduction. Oxford, 2010. Miller, David. Political Philosophy: A Very Short Introduction. Oxford, 2016. Theodoulou, Stella, oth. Public Administration: A Very Short Introduction. Oxford, 2016. Bevir, Mark. Governance: A very short introduction. Oxford 2012.</p> <p>川崎修、杉田敦編『現代政治理論』有斐閣、2019年。 篠原一『市民の政治学』岩波書店、2004年。 苅部直『ヒューマンティーズ 政治学』岩波書店、2012年。 畑山敏夫ほか編『ポスト・フクシマの政治学』法律文化社、2014年。 齋藤純一ほか編『政治の発見』全8巻、風行社、2012年。</p>
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp</p>
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	授業ではグループワークの時間もあります。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	授業のねらいと方法・公共政策の主体
第2回	公共政策の制度
第3回	公共政策の資源
第4回	公共政策の成果
第5回	公共政策への参加
第6回	公共政策と安全
第7回	公共政策と良いガバナンス

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3
開講期間 / Course duration	2020/11/25 ~ 2021/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0 / 1.0
時間割コード / Time schedule code	20204806002001	科目番号 / Course code	48060020
科目ナンバリングコード / Numbering code	HSMC 10031_361		
授業科目名 / Course title	国際公共政策入門(法) / Introduction to International Public Policy (Law)		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	東 史彦 / Fumihiko Azuma		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	東 史彦 / Fumihiko Azuma		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	東 史彦 / Fumihiko Azuma		
科目分類 / Course Category	学部モジュール		
対象年次 / Intended year	1	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	多文化社会学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	fazuma nagasaki-u.ac.jp (@)		
担当教員研究室/Office	総合教育研究棟11階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2925		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水/Wed4		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本講義は、法学の基礎の習得を目的とし、法学、憲法および国際法の基本事項の講義を行います。		
授業到達目標/Course goals	法律がどのような目的をもち、どのような仕組みで機能するのか、ならびに、憲法および国際法とはどのような法規範かを、学生が理解することを目標とします(DP-1)。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて 欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業参加度(14%)、試験(86%)によりますが、積極的な受講態度による加点と、私語による減 点があります。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習として、教科書の該当箇所を事前に読んできてください。講義中の講師の説明で疑問点が 解けない場合は、講師に質問してください(2H)。事後学習として、講義資料(レジュメ、ノート) を見返し、重要な点は何だったか、疑問点がないかを確認してください(2H)。疑問が解けない場合 、講師に質問してください。		
キーワード/Keywords	法学、憲法、国際法		
教科書・教材・参考書/Materials	<教科書> 池田真朗他編「法学六法'21」信山社(2020年) 芹田健太郎編集代表「学習条約集」信山社(2016年) 高乗正臣他著「プラクティス法学実践教室(1)法学・民法・刑法編(第5版)」成文堂(2015年) 高乗正臣他著「プラクティス法学実践教室(2)憲法編(第4版)」成文堂(2017年) <参考書> 中谷和弘他著「国際法(第3版)」有斐閣アルマ(2016年)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	法学の未修者を対象としていますので、とくに履修条件はありません。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	とくに国際法やEU法を勉強するために、基礎知識として基本的な法律の知識をつけましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	講師が在ミラノ日本国総領事館・派遣員時代に体得したEU法・国際法の知見を教育内容に反映している
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス、法学1： 法の概念、法の分類
第2回	法学2： 法の効力、解釈と適用
第3回	法学3： 裁判制度
第4回	憲法1： 基本原則、統治機構
第5回	憲法2： 人権
第6回	国際法1
第7回	国際法2
第8回	定期試験

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3
開講期間 / Course duration	2020/06/11 ~ 2020/09/27		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0 / 1.0
時間割コード / Time schedule code	20204806002501	科目番号 / Course code	48060025
科目ナンバリングコード / Numbering code	HSMC 10041_381		
授業科目名 / Course title	国際公共政策入門 (経済) / Introduction to International Public Policy (Economics)		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	小松 悟 / Satoru Komatsu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	小松 悟 / Satoru Komatsu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	小松 悟 / Satoru Komatsu		
科目分類 / Course Category	学部モジュール		
対象年次 / Intended year	1	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟G3A / RoomG-3A		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	1年次生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	skomatsu @ nag asaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	総合教育研究棟、多文化社会学部		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにて事前にアポイントを取ること。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	様々な人間の行動は、経済学の見方を取り入れることで、その背景や理由をより詳しく理解することができます。本講義では人間活動の蓄積である文化や社会的な慣習を踏まえて成立してきた経済現象を取り上げます。身近な事例を基に人々の行動の背景となる経済学の知識を学び、自身の意思決定にも役立てることを目指します。本講義を通じて、社会の基盤となる経済現象の多様性を理解することで、多文化社会における経済問題の位置づけを考えます。		
授業到達目標/Course goals	(1)グローバル化する社会において経済への関心を深めるとともに、身のまわりの社会現象を経済学の観点から理解し、評価することができること。(DP1) (2)学んだことを生かして、より豊かな社会を築くための制度設計を考えることができること。(DP1、DP3)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	提出物の内容による評価: 55% 最終試験: 45% 全授業開講回のうち、3分の1を上回る回数の授業を欠席した場合、成績評価の対象としない。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	【予習】授業予定内容の教科書の該当部分を予習しておきます。(2h) 【復習】授業のノート、教科書を参考にしながらしっかり復習します。(2h)		
キーワード/Keywords	インセンティブ、選択、文明史、交易、世界システム論		
教科書・教材・参考書/Materials	必要な教材は、講義の中で適宜指示する。 ・参考書 -大竹文雄(2005)経済学的思考のセンス お金がない人を助けるには、中公新書 -Gregory Mankiw(2011) Principles of Economics, 6th edition, Cengage Learning. -一橋大学経済学部(2013)教養としての経済学: 生き抜く力を培うために、有斐閣		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	経済学はお金のことだけを扱う学問ではありません。人々が日常何気なく行っている選択行動や意思決定を対象とする学問です。身近な行動を分析することで、人々や社会全体が幸福になるためにはどうしたらよいかを考えます。みなさんの積極的な参加を期待します。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	イントロダクション、結婚の経済学 本講義の全体構成を説明します。実社会の様々な現象を経済学の見方で捉えることの意義や重要性を考えます。 近年晩婚化が進む中でも結婚したいと考える人は依然として多いです。機会費用、ベッカー理論、比較優位といった概念をもとに結婚のメリットとデメリット、家族を持つことの意味を経済学の視点から考えます。
第2回	購買行動 人々は日常生活の中で無意識に様々な選択をしています。今回は購買行動を事例に選択行動を考えます。更に市場にある品も、同じ品質のものでも季節や日時に応じて価格が大きく変動しています。学割やバーゲンといった事例から価格差別、更に選択のパラドックスを学び、購買行動における選択、商品の価格の意味を考えます。
第3回	文化と観光 社会が多様化・国際化していくと同時に、地域の固有の伝統・文化を再発見し地域振興に寄与しようとする動きも広がっています。日本における旅の歴史・文化を振り返るとともに、観光による経済効果をどのように地域に還元するのかを考えます。
第4回	お金と幸福の経済学 お金があっても幸せになれるとは限りませんが、お金がなければ幸せな生活をつかむのは難しいと思います。一方で、所得が高くとも幸福感が高くないという現象は、日本だけではなく欧米諸国でも確認されています。幸福はいったいどのような要因で決まるのか、相対所得仮説や順応仮説といった理論を踏まえながら、お金と幸福との関係を考えます。
第5回	貧困と格差 競争や格差に関する捉え方は、市場経済国の中においても大きく異なります。貧困とはどういう状況を指すのか、格差は近年広がっているのかどうか。ここでは各国の競争・格差・貧困や経済格差を近年の指標で確認するとともに、格差が存在することの意味を考えます。
第6回	賃金と就職 働くことや雇用に対する考え方は国によっても大きく異なります。各国における近年の雇用情勢を踏まえながら、働き方の違い（正規労働と非正規労働）、就職活動、失業、職業訓練の意味を考えます。
第7回	リスクと保険 人々のリスクに対する考え方は非常に多様です。実社会で様々なリスクに備えるための仕組みが保険です。ここでは自分のリスクに対する捉え方を、実験を通じて考えます。更に少子高齢化が進む中での医療や老後の経済的問題を検討します。リスク選好・不確実性・トレードオフといった概念をもとに、リスクに対する備え、保険の役割や限界を考えます。
第8回	期末試験

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2020/11/24		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0 / 1.0
時間割コード / Time schedule code	20204806003001	科目番号 / Course code	48060030
科目ナンバリングコード / Numbering code	HSMC 10051_401		
授業科目名 / Course title	社会学入門 / Introduction to Sociology		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	賽漢卓娜 / Saihanjuna		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	賽漢卓娜 / Saihanjuna		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	賽漢卓娜 / Saihanjuna		
科目分類 / Course Category	学部モジュール		
対象年次 / Intended year	1	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room			
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	saihanjuna@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	総合教育研究棟11F、賽漢卓娜研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2918		
担当教員オフィスアワー/Office hours	Eメールで質問を受け付ける上、面談します。 saihanjuna@nagasaki-u.ac.jp		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	社会学という学問とは何か、それを学ぶことの意味はどこにあるのかを、なるべく平易に講義しま す。社会学的想像力ということ、講義全体を貫く軸として設定します。		
授業到達目標/Course goals	1. 社会学について自分なりの説明ができるようになる (DP-1、DP-3)。 2. 社会学的な見方を理解できるようになる (DP-1)。 3. 社会学的想像力の重要性を意識できるようになる (DP-1)。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけ て欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	積極的な参加・課題：40点、試験：60点、		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	【準備学習】毎回、授業時に次回の準備学習について指示します。その内容をを2時間/週で読む・ 書くことをしてください。準備学習により理解していない点を明確にし、積極的に授業で質問する ようにしてください。(2h) 【復習】自分のノート(もしくはWordファイル)を作成し、用語のまとめや不明な点をピックアップ して、参考書等から疑問点を無くすようにまとめてください。これにより、重要な点を自分自身 でレビューし、文章で説明できるかどうかを確認してください。(2h)		
キーワード/Keywords	社会学、社会学的想像力		
教科書・教材・参考書/Materials	授業中に適宜指示する。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	特になし		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、すべての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社 会的障壁の除去および合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポ ートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相 談ください。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MALL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	社会学の面白さをわかってもらえればと思います。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1回	ガイダンス
2回	社会学とは何か
3回	社会学理論と社会学の視角
4回	文化と現代社会
5回	社会化
6回	社会の構造と行為・相互作用
7回	問題意識と社会学 - 学生自身の取り組みから
8回	試験

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1
開講期間 / Course duration	2020/06/11 ~ 2020/09/27		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0 / 1.0
時間割コード / Time schedule code	20204806003501	科目番号 / Course code	48060035
科目ナンバリングコード / Numbering code	HSMC 10061_351		
授業科目名 / Course title	人類学・民俗学入門 / Introduction to Anthropology and Folkloristics		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	王 維 / Wang Wei, 細田 尚美 / Hosoda Naomi, 増田 研 / Masuda Ken, 才津 祐美子 / Saitu Yumiko, 波佐間 逸博 / Itsuhiro Hazama		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	王 維 / Wang Wei		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	王 維 / Wang Wei, 細田 尚美 / Hosoda Naomi, 増田 研 / Masuda Ken, 才津 祐美子 / Saitu Yumiko, 波佐間 逸博 / Itsuhiro Hazama		
科目分類 / Course Category	学部モジュール		
対象年次 / Intended year	1	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟G3A / RoomG-3A		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	1年次		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	科目責任者・王維 wangw@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	総研棟10階 王研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2913		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時 (ただし、事前にメールでの連絡が必要です)。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	この科目は、文化人類学 (Cultural Anthropology) と民俗学 (Folklore) の入門科目である。この科目に引き続いて、文化人類学基礎 5 科目 (「観光」「生態・社会」「民族誌」「民俗学」「移民」) があるため、本科目はこれら 5 つの基礎科目へのイントロダクションとしての位置づけが与えられている。		
授業到達目標/Course goals	この科目の到達目標は以下の一点である。 (1) 人類学・民俗学的アプローチの特徴を説明できる (DP-1)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1 つ以上 3 つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	試験及び課題レポートの得点統計に出席率を掛けたもので判定する。試験50% レポート、授業参加50% 変更: 各回授業後の課題 (15点) × 6 回 + 10点 (初回) 100点満点		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習として、参考書の該当箇所を読むことが求められる。		
キーワード / Keywords	自然と文化、文化人類学、民俗学、異文化理解、社会動態。		
教科書・教材・参考書 / Materials	参考書は以下の通りである。 1. 梅屋潔・シンジルト (編) 『新版 文化人類学のレッスン』学陽書房、2017年 2. 山下晋司 (編) 『文化人類学入門: 古典と現代をつなぐ20のモデル』弘文堂、2005年 3. 内堀基光・奥野克巳 (編) 『文化人類学』NHK出版、2014年		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)			
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	多文化社会の動態を、ミクロな領域から切り開き、ヒト社会全体の課題として提示するのが人類学・民俗学です。この講義では主に、「なぜ人類学・民俗学的なアプローチが生まれ、必要とされるのか」という、学問そのものの根幹を問いただすとともに、専門的なトピックを通じて研究の実践例を学びます。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	人類学入門 (王維)
2	民族誌という方法論 (増田研)
3	トピック(1) 人間と環境・生業 (波佐間逸博)
4	トピック(2) 伝統の自覚と観光 (王維)
5	トピック(3) 人の移動と共生 (細田尚美)
6	トピック(4) 文化人類学と日本民俗学の関係 (才津祐美子)
7	まとめ 現代社会における文化人類学の応用

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2020/11/25 ~ 2021/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0 / 1.0
時間割コード / Time schedule code	20204806004001	科目番号 / Course code	48060040
科目ナンバリングコード / Numbering code	HSMC 10071_331		
授業科目名 / Course title	歴史学入門 / Introduction to Historical Studies		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	岩本 佳子, 野上 建紀 / Takenori Nogami		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	岩本 佳子		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	岩本 佳子, 野上 建紀 / Takenori Nogami		
科目分類 / Course Category	学部モジュール		
対象年次 / Intended year	1	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room			
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	1年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	keiko_iwamoto@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	多文化社会学部総合教育研究棟10階岩本研究室 (1012号室) (岩本)		
担当教員TEL/Tel	keiko_iwamoto@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜午後 (13時-18時) 金曜午後 (13時-18時) (岩本)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	かつてE・H・カーという歴史家は、「歴史とは現在と過去との対話である」といったが、大学で学ぶ歴史学は高校の「日本史」、「世界史」とはだいぶ異なる。本講義はまず、いわゆる歴史学を中心にして、歴史とは何か、歴史を研究する意義とは何か、歴史学の歴史、歴史を研究する際の素材 (史料)、その分析・解釈の方法、歴史学が扱うさまざまなテーマなどを論ずる (以上、5回)。そして、最後の2回では、物質資料を通して人類史を研究する考古学を中心に、文献史学の関連分野やそれらの関係性を紹介する。		
授業到達目標/Course goals	<p>学生が、史学史を踏まえた上で、歴史および考古学を研究する意義について説明できるようになる (DP-1)</p> <p>学生が、歴史学・考古学の材料としての史料・資料を批判的に検討する技法を得ることができるようになる (DP-1)</p> <p>学生が、自分を現代史の中に位置づけることを通じて、人類史の中で現代を相対化する視点を得ることができるようになる (DP-2)</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	岩本担当分: 課題レポート (30%)、定期試験 (20%)、授業への貢献度 (10%) 野上担当分: 課題レポート (30%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習 毎回回の授業範囲を指定しますので、配布された資料や教科書をよく読んで、分からない言葉などを各自で調べておいてください。(2h) 復習 講義内容について、レジュメや授業で紹介した参考文献を読んで復習し、理解できない点は図書やインターネットを用いて調べ、それでもわからない点は教員に質問し、解決してください。(2h)		
キーワード/Keywords	歴史叙述、史料・資料、史料批判、方法論		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は用いず、プリントを配布する。参考文献は、講義中に提示する。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	特になし		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
10月3日	歴史とは何か、歴史を研究する意義とは何か
10月10日	史料批判、史料読解
10月17日	歴史学（歴史叙述）の歴史
10月24日	歴史学の諸テーマ・分析方法
10月31日	日本と世界ー「自分」の歴史学的立ち位置
11月7日	考古学入門(1)：モノから見る人類史
11月14日	考古学入門(2)：考古学の方法論
11月21日	総括および定期試験

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2020/11/24		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0 / 1.0
時間割コード / Time schedule code	20204806004501	科目番号 / Course code	48060045
科目ナンバリングコード / Numbering code	HSMC 10081_275		
授業科目名 / Course title	文化研究入門 / Introduction to Cultural Studies		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	GUELBEYAZ ABDURRAHMAN		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	GUELBEYAZ ABDURRAHMAN		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	GUELBEYAZ ABDURRAHMAN		
科目分類 / Course Category	学部モジュール		
対象年次 / Intended year	1	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address			
担当教員研究室/Office	総合研究棟12階		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメール連絡すること		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本講義では、音楽を応用して、近代化過程を通じて「文化」のカテゴリーの下に包含されるようになった社会現象に対する優勢な科学的アプローチに習熟し、それらのコアコンセプト及び主要な欠陥について批判的に議論し、評価する。他方では、音楽学の学際的性質、特に歴史音楽学、人類学、民俗学、言語学、コミュニケーション、文化研究との関係についても検討します。		
授業到達目標/Course goals	社会科学的な理論モデル、概念、用語等に批判的に、そして十分な注意を払ってアプローチし、取り扱い、使用することができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業の参加度 / 発表 / 課題 / 中間レポート (50%)、小論文 / テスト (50%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	指定された資料を読み込んで、授業に参加すること。		
キーワード/Keywords	文化、文化研究、音楽、意味論、記号、記号論、社会科学的な調査、社会科学的方法		
教科書・教材・参考書/Materials	詳しい話を最初の授業でします。 基本的には、授業内容に直接関連するテキストを事前に配布します、又はメールで送ります。		
受講要件(履修条件) /Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) /Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	授業内での討論やグループワークに積極的に参加し、相互作用的で対話式の授業に向け協力して下さい!		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	授業の構成と案内 ・ 主題分野の全範囲への俯瞰 (主題領域の区切り線を確認)
第2回	音楽とは何？ ・ 音楽を考える方法：音楽学、史的音楽学、民族音楽学、音楽社会学、音楽心理学 ・ 音楽の分類法：西洋音楽、雅楽、クラシック音楽、現代音楽、芸術音楽、民族音楽、軽音楽、ポ ピュラー音楽、等
第3回	音楽と移住 ・ 音楽の搬送ルート
第4回	音楽と宗教 ・ 言語の音楽化・音楽の言語化
第5回	音楽と破壊 ・ 破壊・殺傷兵器、拷問道具としての音楽
第6回	音楽の意味・言葉の意味 ・ 音楽記号作用 -対- 言語記号作用
第7回	アイデンティティの概念とその仲間 ・ 言語とアイデンティティ、音楽とアイデンティティ
第8回	まとめ

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1
開講期間 / Course duration	2020/06/11 ~ 2020/09/27		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0 / 1.0
時間割コード / Time schedule code	20204806005001	科目番号 / Course code	48060050
科目ナンバリングコード / Numbering code	HSMC 10091_294		
授業科目名 / Course title	思想・宗教研究入門 / Introduction to Intellectual and Religious Studies		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	滝澤 克彦 / Katsuhiko Takizawa, 森 元斎		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	滝澤 克彦 / Katsuhiko Takizawa		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	滝澤 克彦 / Katsuhiko Takizawa, 森 元斎		
科目分類 / Course Category	学部モジュール		
対象年次 / Intended year	1	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟G3A / RoomG-3A		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多文化社会学部1年次		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	takizawa nagasaki-u.ac.jp (@)		
担当教員研究室/Office	総合教育研究棟		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時 (要事前連絡)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	我々はいかなる存在か、そしてどのような世界に生きているのか、古来人は様々に思い巡らしてきた。本授業は、自然や人間について人が抱いてきた観念を歴史的に俯瞰することで、いま私たちが「当たり前」と信じる近代的(科学的)な自然観や人間観を見つめなおす。それを通して、思想や宗教について学ぶための基本的な視座を身につける。		
授業到達目標/Course goals	自然と人間をめぐる思想や宗教の歴史を学び、その概略を説明できるようになる。(DP-2) 近代的なものの見方、考え方を批判的に捉えるための基本的な視座を身につける。(DP-2,3)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への積極的参加 (レスポンスペーパーの提出など) 50%、課題50%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	【事前学習】各回で扱うテーマについて文献などで事前にある程度の予備知識をえておく。(2h) 【事後学習】各回で扱ったテーマについて文献などを参照し理解を深める。(2h)		
キーワード/Keywords	思想, 宗教, 人間, 世界, 社会		
教科書・教材・参考書/Materials	参考文献については、授業中に適宜指示する。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	特になし		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	はじめに 自然と人間
第2回	自然観の系譜
第3回	近代以降の自然観と人間
第4回	人間の終焉とポストヒューマニズム
第5回	生命観の系譜
第6回	人間の発見と人種の発明
第7回	進化論と宗教

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2020/06/11 ~ 2020/09/27		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0 / 1.0
時間割コード / Time schedule code	20204806005501	科目番号 / Course code	48060055
科目ナンバリングコード / Numbering code	HSMC 10101_321		
授業科目名 / Course title	言語コミュニケーション入門 / Introduction to Language and Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	谷川 晋一, 楊 曉安 / Yang Xiaohan, Cutrone Pino / Pino Cutrone, 隈上 麻衣 / Kumagami Mai, 原田 走一郎 / Soichiro Harada, 西原 俊明 / Nishihara Toshiaki, 小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	谷川 晋一		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	谷川 晋一, 楊 曉安 / Yang Xiaohan, Cutrone Pino / Pino Cutrone, 隈上 麻衣 / Kumagami Mai, 原田 走一郎 / Soichiro Harada, 西原 俊明 / Nishihara Toshiaki, 小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
科目分類 / Course Category	学部モジュール		
対象年次 / Intended year	1	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟G3A / RoomG-3A		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多文化社会学部1年次生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	代表者谷川: shintanigawa nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換える)		
担当教員研究室/Office	ビノ、谷川、原田: 総合教育研究棟5階、10階、12階 小笠原、西原、楊、隈上: 言語教育研究センター1階		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールによる申請で対応		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	多文化社会で活躍するには、言語に関する基礎的知識を習得した上で、場面に応じて適切かつ適 確に言語を運用する力が求められる。本授業では、英語、中国語、日本語を軸に、言語そのものの 特性とそれを取り巻く環境について考察を行うことで、「言語学」と「語学」の差別化を行いなが ら、言語研究の重要性と意義について学ぶ。言語のしくみと機能を適切に理解することがコミュニ ケーションにとっていかに重要であるかについて意識的に考えることで、現代社会において正しく 言語運用を行うための視点を養う。 言語コミュニケーションコースにおいて3年次対象の専門科目を担当する教員が各回、それぞれの 研究分野の観点から、講義を行う。		
授業到達目標/Course goals	・言語の特性やしぐみ、機能を理解することの重要性を認識できる (DP-1)。 ・言語学が何を目標にする学問領域であるか、その主要研究領域と特徴について適切に理解でき (DP-1)。 ・言語学に関する多様なトピックについて、日本語及び英語を用いて、他者と意見交換を行いなが ら、論点を理解し、共有することができる (DP-2, DP-3)。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけ て欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への積極的な参加と取り組み: 30% 課題: 70%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習: LACSにアップロードする電子資料や動画、ウェブサイトを使って準備学習を行う (2時間/ 回)。 復習: 配布資料を再読し、復習を行いながら、課題に取り組む (2時間/回)。		
キーワード/Keywords	言語学、英語学、社会言語学、語用論、コミュニケーション論、応用言語学、英語教育、日本語学 、方言学、中国語学、日中対照言語学、母語獲得、第二言語習得、日英対照言語学		
教科書・教材・参考書/Materials	授業時にハンドアウト等を配布する。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回: 6/5	オリエンテーション & 言語学で何を学ぶのか (谷川)
第2回: 6/12	英語学 (西原)
第3回: 6/19	社会言語学、語用論、コミュニケーション論 (ピノ)
第4回: 6/26	応用言語学、英語教育 (小笠原)
第5回: 7/3	日本語学、方言学 (原田)
第6回: 7/10	中国語学、日中対照言語学 (楊)
第7回: 7/17	母語獲得、第二言語習得 (限上)
第8回: 7/31	日英対照言語学、統語論 & 総括 (谷川)

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 4クォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2020/11/25 ~ 2021/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0 / 1.0
時間割コード / Time schedule code	20204806006001	科目番号 / Course code	48060060
科目ナンバリングコード / Numbering code	HSMC 10111_271		
授業科目名 / Course title	エリア研究入門 / Introduction to Area Studies		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	波佐間 逸博 / Itsuhiro Hazama, 南 誠 / Minami Makoto, 野上 建紀 / Takenori Nogami		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	波佐間 逸博 / Itsuhiro Hazama		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	波佐間 逸博 / Itsuhiro Hazama, 南 誠 / Minami Makoto, 野上 建紀 / Takenori Nogami		
科目分類 / Course Category	学部モジュール		
対象年次 / Intended year	1	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room			
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	1年次		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	科目責任者 : hazama@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Office	多文化社会学部 (総合教育研究棟) 11階 波佐間研究室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2922		
担当教員オフィスアワー / Office hours	随時 (事前にメールで確認してください)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	エリア研究は、多様な社会・文化・歴史を内包する境界もぼんやりした範囲を外からアジアとかアフリカなどのエリアという単位としてとらえることによって、世界史の全体を考え直し、現実社会を認識するフレームをあらためようというねらいをもっています。この授業では、エリア研究のビギナーの目線から、アジア・アフリカ地域が有している現実世界の問題や困難を解決する実践的可能性に光をあて、世界の未来を展望します。		
授業到達目標 / Course goals	・特定地域からの発想 (エリア研究的イマジネーション) をふくらませることができる。(DP-1)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents for the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	平常点 (レポート提出・授業への参加状況) 70% 定期試験30%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	1回の授業毎に予習2時間、復習2時間		
キーワード / Keywords	世界史、ローカル、アジア、アフリカ		
教科書・教材・参考書 / Materials	随時紹介する。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	エリア研究入門 (波佐間逸博)
第2回	トピック1) 東アジア (南誠)
第3回	トピック2) アジア海域 (野上建紀)
第4回	トピック3) アフリカ (波佐間逸博)
第5回	トピック4) 中東 (岩本佳子)
第6回	トピック5) 東アジア (河村有教)
第7回	トピック6) エリア研究的イマジネーション (波佐間逸博)
第8回	まとめとテスト